

弘前大学学報



第14回弘前大学総合文化祭

第 127 号
平成26年10月号

学内ニュース

○平成26年度弘前大学及び弘前大学大学院秋季入学式	-----	1
○平成26年度弘前大学及び弘前大学大学院秋季入学式告辞 弘前大学長 佐藤 敬	-----	2
○平成26年度 弘前大学「HIROSAKIはやぶさカレッジ」 入校式を実施	-----	3
○附属図書館リニューアルオープンセレモニーを挙行	-----	4
○弘大ワークスタディの様子 ～リサイクルゴミ（ペットボトル）の有効活用～	-----	5
○平成26年度東北地区国立大学法人等 会計事務研修を実施	-----	6
○「弘前市の経営計画に係る説明会」を開催	-----	7
○平成26年度日本学術振興会 二国間交流事業共同研究セミナーを開催	-----	8
○名誉教授との懇談会を開催	-----	9
○第5回COI特別講演会を開催	-----	10
○弘前大学資料館 第6回企画展 開催	-----	11
○第14回弘前大学総合文化祭 「テーマ『BEAT』」を開催	-----	12

諸 会 議	-----	16
--------------	-------	----

人 事

○新任役員等紹介	-----	18
○新任部課長等紹介	-----	18
○新任教授紹介	-----	18
○人事異動	-----	18

主要日誌	-----	23
-------------	-------	----

学内規則	-----	24
-------------	-------	----

平成26年度弘前大学及び弘前大学大学院秋季入学式

平成26年度弘前大学及び弘前大学大学院秋季入学式が10月1日（水）、事務局3階大会議室において執り行われました。

平成26年度秋季の入学内訳は、次のとおりです。

○医学部医学科	20名
○人文社会科学研究科	7名
○理工学研究科（博士前期課程）	2名
○農学生命科学研究科	3名
○医学研究科	6名
○理工学研究科（博士後期課程）	2名
合計	40名



26年度秋季入学者



告辞を述べる佐藤学長

平成26年度 弘前大学及び弘前大学大学院 秋季入学式

告 辞

本日、この穏やかな秋の日に、ここ弘前大学事務局大会議室において、平成二十六年秋季入学式を挙げることは、私たち弘前大学教職員にとって大きな喜びとするところです。まずもって、本日入学の日を迎えられた学部学生二十名と大学院生二十名の皆さんに心から歓迎の意を表するとともに、お祝いを申し上げます。皆さん、誠にありがとうございます。

例年、秋季入学式は、この大会議室で行われていますが、ここでは、弘前大学の六十五年余の歴史を先導して来られた十二人の歴代学長が皆さんを見守っておられます。この機会に、皆さんお一人おひとりが、弘前大学の歴史を担うべき人になったことを、改めて思い起こして下さるよう願っています。

さて、弘前大学の歴史は、一九四九年、昭和二十四年の新制大学としての設立に始まります。これは、太平洋戦争後に我が国の教育制度が一新されて間もない頃の出来事でした。しかしながら、元を辿ると、明治九年に設置された青森県師範学校、大正九年に設置された弘前高等学校、昭和十九年に設置された青森医学専門学校などが、現在の弘前大学の母体になっています。青森にあった師範学校や医学専門学校が空襲で焼け落ち、弘前に移転することで、弘前大学の新たな歴史がスタートした訳ですが、その過程において、大学関係者の努力のみならず、地域の人々の大きな支援があって、新制弘前大学が実現したものです。

旧制弘前高等学校の時代から、弘前市民は学生を大切にされて来られました。現在も弘前大学の教育研究に対して、地域の自治体、企業、そして市民の皆さんから大きな支援をいただいています。加えて、弘前は六つの高等教育機関をはじめ多数の教育機関が存在する学都であり、また、多くの歴史的・文化的施設も有しています。私たちはこの弘前の地で教育・研究に携わることのできる幸せを強く感じていますが、この地で学生生活を送ることは皆さんにとっても幸いなことに間違いありません。そのことを強く意識して、勉学に励み、やがては社会に貢献する人材として育てて下さるよう願っています。

そして大学では学生の皆さんが自主的に勉学をデザインし自ら学ぶのであり、ましてや大学院においては、それは当然のことです。極言すれば、教員の役割は、皆さんの勉学を導くものであり、大学における授業は、皆さんの勉学の指針となるのが理想です。高等学校までのように、個々の学生を対象に、授業の成果を逐一確認するような機会は、大学では多くありません。それは皆さんが自ら行うことであり、それによって確実に知識や技術を自分のものにできるからです。そして更には、自らの力でそのレベルを超えて、発展させなければなりません。ここにこそ、自ら学ぶことの意味があり、高等教育の真の姿があるのです。皆さんは次世代を担うべき人材であり、その学問は、やがて私たちを超えるものでなくてはなりません。大学入学と同時に、既にそのことを目指すべきであるという認識を強く持つていただく必要があります。

学問に終わりはなく、従って、大学の授業には完結はありません。ある一つの領域に限ったとしても既に確立された知識や技術を全て身につけるのは大変なことであり、例えそれが可能だとしても、学問はそこで終わる訳ではないのです。繰り返しますが、皆さんは、そこから更に学問を発展させていかなければならない人たちなのです。そのことは決して楽な作業ではありませんが、大いに挑戦する価値のあることではないでしょうか。今日、この場で、自ら学ぶという決意を新たに、銘記していただくよう、皆さんに激励を送りたいと思います。

終わりに、今一度、今後の弘前大学における皆さんの学生生活が健全で実り多いものになるよう祈念して、告辞と致します。

平成26年10月1日

弘前大学長 佐藤 敬

平成26年度 弘前大学「HIROSAKIはやぶさカレッジ」 入校式を実施

10月1日（水）、総合教育棟大会議室において、平成26年度弘前大学「HIROSAKIはやぶさカレッジ」の入校式を行いました。「HIROSAKIはやぶさカレッジ」とは、英語圏とアジア圏の短期海外留学、英語による修了研究などを必修とした、グローバル人材育成のための2年間の特別な教育課程を提供するプログラムです。

入校式には、佐藤敬学長（校長）、伊藤成治理事・副学長（副校長）をはじめ、国際教育センター教員等が出席するとともに、第2期の入校生として人文学部から3名、医学部保健学科から1名、理工学部から1名、農学生命科学部から1名の計6名が出席しました。

入校式では、佐藤校長が「弘前大学のグローバル化のバンガード（先頭を走る人）として、その気概をもって頑張っていたほしい」と挨拶しました。また、入校生を代表して澤田愛美さんから「語学や文化力だけでなく、国際社会で強く生き抜く力を身につけ、社会に貢献できる人間となるべく邁進する」と将来の抱負が述べられました。

今後、入校生は言語コミュニケーション能力、多文化環境における共生力、自文化の足元を相対化しながらみつめる力を身につけ、修了までに15単位以上の授業科目の修得を目指すことになります。



入校生代表による挨拶



入校生記念撮影

附属図書館リニューアルオープンセレモニーを挙

10月1日（水）に附属図書館リニューアルオープンセレモニーを、学内外約50名の出席のもと挙

行しました。弘前大学創立50周年記念会館2階岩木ホールにて行われたセレモニーでは、佐藤学長の挨拶に続

き、郡附属図書館長から挨拶及び概要説明、鈴木敏之文部科学省研究振興局参事官（情報担当）の祝

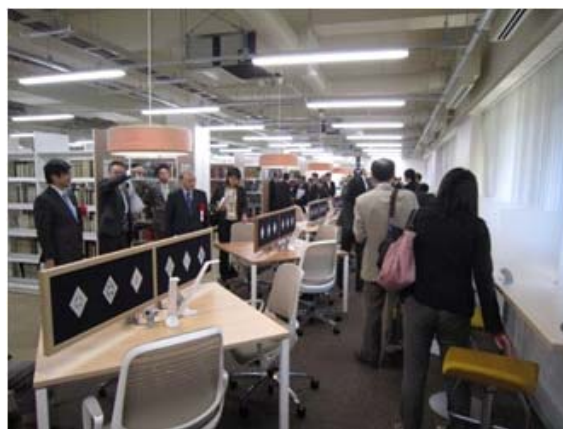
辞がありました。附属図書館1階利用者入口エントランス前に移動し、関係者によるテープカットが

行われ、リニューアルオープンを祝いました。また、引き続き行われた図書館内覧会では、新設された各施設を中心



テープカットの様子

（左から加藤理事・副学長、佐藤学長、鈴木参事官、郡館長）



内覧会の様子

（地元伝統工芸のこぎん刺しパネルやブナコランプを配置した閲覧室）

弘大ワークスタディの様子 ～リサイクルゴミ（ペットボトル）の有効活用～

「弘大ワークスタディ」は、より良い大学づくりに向けて本学の多くの学生に協力してもらおうという、今年度から新たにスタートした取組です。

今回は、その一例を紹介します。

弘前大学文京町地区では、ペットボトルが1週間で約200kg捨てられており、現在は1週間に1度ゴミ収集業者に有料で回収・処分を依頼しています。このペットボトルは、キャップを外し、きれいな状態にすることで、リサイクル業者で買取ることが可能です。弘大ワークスタディでは、この捨てられたペットボトルの数量や状態を調査の上、分別・洗浄作業を行い、試験的にリサイクル業者に引き渡す取組を行っています。

10月の第1週目は、約5,000本のペットボトルを回収しましたが、約3割のペットボトルに飲み残しがあったり、キャップが付いている状態が判明し、今回は4名の学生が約3時間もくもくと分別・洗浄作業を行いました。

今後は、リサイクル意識向上のための活動も行っていく予定です。

学内にペットボトルを捨てる際には、以下に注意して下さるよう、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

- ①ペットボトルキャップは、はずして所定の場所に捨てる。
- ②飲み残しを捨て、汚れている場合にはすすいでから捨てる。



学生によるペットボトル改修の様子

平成26年度東北地区国立大学法人等 会計事務研修を実施

本学は国立大学協会東北地区支部と共催で、10月8日から10日までの3日間、会計事務職員の業務遂行能力の向上と意識改革を図ることを目的に、平成26年度東北地区国立大学法人等会計事務研修を弘前大学創立50周年記念会館「岩木ホール」で開催しました。研修には、東北地区の大学、高等専門学校、青少年交流の家及び青少年自然の家から49名が参加しました。

初日は、はじめに加藤健総務担当理事から開会の挨拶があり、引き続き、文部科学省高等教育局法人支援課支援第一係長の小笠原義人氏と研究振興局振興企画課競争的資金調整室指導企画係長の坂野豊和氏による講義が行われ、今後の国立大学の機能強化に向けた考え方や、改正された「公的研究費の管理・監査のガイドライン」の概要等についての説明が行われました。

2日目は、有限責任あずさ監査法人による講義・演習が行われ、財務諸表を活用したグループディスカッションを通じ、国立大学法人特有の会計基準の理解を深めていました。

3日目は、和氣太司副学長による講義が行われ、副学長自身のこれまでの海外経験を踏まえた、国立大学法人等の国際化の現状と課題や対応策などが紹介されました。

なお、初日に行われた情報交換会では、「弘前大学津軽三味線サークル」による津軽三味線の演奏が行われ、盛会のうちに終了しました。受講者は、3日間の研修を通じて他大学等の職員との交流を深めるとともに、所期の目的を十分達成し、有意義な研修となりました。



文部科学省高等教育局法人支援課
小笠原係長による講義



文部科学省研究振興局振興企画課
競争的資金調整室坂野係長による講義



弘前大学和氣副学長による講義



弘前大学加藤総務担当理事による挨拶

「弘前市の経営計画に係る説明会」を開催

弘前市との連携推進事業として幹部級職員を主な対象とした説明会「地域経営が弘前の未来を変える～弘前市経営計画について～」を10月14日（火）、弘前大学創立50周年記念会館岩木ホールで開催しました。

この説明会は、地域志向を目指す本学と地域自治体等との連携を一層充実させるため、先に行われた青森県基本計画等に関する説明会に続く第3回目として、弘前市の経営計画の内容や方向性、関連事業等を理解し、本学における地域指向的な企画の立案や推進に役立てていくことを目的として開催されたものです。

説明会には、佐藤学長をはじめ、役員、部局長、教育研究評議員ら約40名の幹部職員らが出席しました。説明者の弘前市経営戦略部行政経営課岩崎隆課長から、「子どもたちの笑顔あふれるまち弘前」を目指す弘前市が、重点課題と位置付ける人口減少対策として取り組んでいる事業や、ひと・くらし・なりわい・まちづくりに係る様々な施策等について説明が行われ、本学には、さらなる事業推進のために今まで以上の連携、協力をお願いしたいとの要望がありました。

説明会後半には、雪対策の一層の推進や、地域づくりに大学生が参画することへの期待などに関する活発な質疑応答が交わされ、出席者の関心の高さを感じさせるとともに、本学と弘前市との今後のさらなる連携強化が期待されます。



岩崎弘前市経営戦略部行政経営課長による説明



佐藤学長による質問の様子

平成26年度日本学術振興会 二国間交流事業共同研究セミナーを開催

人文学部は日本学術振興会二国間交流事業の採択を受け10月17日（金）、弘前駅前地区再開発ビル（愛称：ヒロロ）の弘前市民文化交流館4階ホール並びに3階多世代交流室にて、慶應義塾大学教授樋口美雄氏、韓国大邱広域市から行政関係者・研究者さらには青森県・弘前市の行政関係者及び国内からの研究者を多数お招きし、共同研究セミナー「地域人材流出と地域発展政策～なぜ、若者たちは東京・ソウルに移動するのか？～」を開催しました。セミナーには、一般市民・学生あわせ100名超の参加がありました。

樋口美雄氏による基調講演「ストップ少子化・地方元気戦略」のあと、「人口流出から人口流入へ：Uターン戦略について」「人工再生力回復のために」の各分科会に分かれ、それぞれ活発な議論が交わされました。人文学部李永俊教授による分科会総括に続き、今井正浩人文学部長から閉会挨拶があり、盛会のうちにセミナーは終了しました。

人口減少・少子化の解消と地域発展のための重要かつ貴重な講演と議論が行われ、一般市民はもちろん、学生にとっても有意義な時間を過ごすことができました。



佐藤学長による開会の挨拶



分科会の様子

名誉教授との懇談会を開催

本学では10月20日（月）、弘前大学創立50周年記念会館岩木ホールにおいて「名誉教授との懇談会」を開催しました。

この懇談会は、名誉教授をお迎えし、本学の管理運営について忌憚のない意見を伺うために例年10月に開催しており、今年度は名誉教授19名と大学側から佐藤学長をはじめ20名が出席しました。

はじめに、佐藤学長より「大学は常に改革を求められており、本学においても改革を推し進めるべく、様々な取組を実施している。これらの取組について、名誉教授の先生方から忌憚のない御意見を頂戴したい。」との挨拶があり、続いて、佐藤学長よりこの1年間における大学の業務実績の総括報告がありました。その後、各学部・研究科長、附属病院長及び各附置研究所長がそれぞれ現況報告を行いました。

名誉教授からは「リニューアルオープンした附属図書館の今後について、蔵書数を増やすことや本の貸出を行うだけではなく、大学主導のプロジェクトを立ち上げる等、能動的な活動が必要だ。」、「被ばく医療については、福島県で活動することも多いが、原子力関連施設を多数抱える青森県内における活動もこれまで以上に活発にしてほしい。」といった意見が出されました。

懇談会終了後は、大学会館2階レストランスコーラムへ会場を移し、昼食会を引き続き開催しました。



佐藤学長による挨拶



名誉教授による質問の様子

第5回COI特別講演会を開催

10月20日（月）、大学院医学研究科基礎大講堂において、GEヘルスケア・ジャパン株式会社 執行役員 技術本部長 星野 和哉 氏を講師にお招きし、「GEのイノベーションと日本の役割」と題した特別講演会を開催しました。

本講演会は、文部科学省の「革新的イノベーション創出プログラム（COI STREAM）」に採択された、本学と企業及び自治体等で組織する「脳科学研究とビッグデータ解析の融合による画期的な疾患予兆発見の仕組み構築と予防法の開発（略称：革新的「健やか力」創造拠点）」をテーマとした研究拠点の活動を推進するにあたり、更なる知見を深めることを目的に実施し、今回が5回目の開催となります。

講演会では、GEがヘルスケア事業でこれまで成し遂げてきたイノベーションの歴史や超高齢化社会へ向けた高齢者のQOL（生活の質）の向上を支援する「Silver to Gold戦略」など、グローバルに展開するGEの取り組みについて、御講演いただきました。

当日は約70名の一般の方、学生や教職員、企業等関係者が聴講し、講演後にも星野氏に個別に質問を行い、熱心に意見交換がされていました。

本拠点内での連携をより一層強化できる良い機会となりました。



中路研究リーダーによる挨拶



GEヘルスケアジャパン 星野 本部長による講演



熱心に聞き入る聴講者



聴講者による質問の様子

弘前大学資料館 第6回企画展 開催

10月23日（木）から、弘前大学資料館第6回企画展「文部科学省 革新的イノベーション創出プログラム」The Center of Healthy Aging Innovation～真の社会イノベーションを実現する「革新的『健やか力』創造拠点～」が始まりました。

平成25年度、文部科学省及び独立行政法人科学技術振興機構による「革新的イノベーション創出プログラム（COI STREAM）」に採択されました。本事業は、『10年後、どのように「人が変わる」のか、「社会が変わる」のか、その目指すべき社会像を見据えたビジョン主導型の研究開発プログラム』であり、既存の概念を打破し、これまでにない革新的なイノベーションを創出するイノベーションプラットフォームを我が国に整備することを目的として、全国で12拠点が採択されています。

本学の取り組みは、「脳科学研究とビッグデータ解析の融合による画期的な疾患予兆発見の仕組み構築と予防法の開発」として、これまで10年にわたる岩木健康増進プロジェクトで培ってきたコホート研究による膨大な健康情報を解析し、「疾患予兆発見の仕組みの構築」と「予兆に基づいた予防法の開発」等により、超高齢化社会を迎える日本において大きな社会的課題となっている「医療費の削減」、「高齢者の健康増進」、「QOLの向上」を目指します。また、地域住民の考え方を「いかに長く生きるか」から「いかに健やかに老いるか」へシフトさせ、高齢者が健康に長生きして活躍できる長寿健康社会の実現を目指しています。

本企画展は、これまでの岩木プロジェクトを初めとした関係する取り組みを本学教職員、一般市民に広く紹介し理解を深めていただくとともに、青森県の短命県返上に向けて、今後の事業推進をさらに加速させていくことを目的として実施しています。

みなさまのご来館をお待ちしております。

日 時： 2014年10月23日（木）～12月19日（金）
（日・祝・休日は休館）
10：00～16：00

場 所： 弘前大学資料館 企画展示室

第14回弘前大学総合文化祭 「テーマ『BEAT』」を開催

第14回弘前大学総合文化祭が10月24日（金）から26日（日）の3日間にわたり、本学文京町キャンパスで開催されました。

今年のテーマ
『BEAT』

みんなの鼓動が
みんなの心が
響き合う

今年のテーマは「BEAT」です。これには、弘大祭実行委員会の「ビートを刻んで1つの音楽を作り上げていくように弘前大学の学生や教職員といった学校の関係者だけではなく、地域の住民の方々とも手を取り合い、一丸となってより良い弘大祭を共に作り上げていきたい」との思いが込められています。

オープニングフェスティバルでは、爽やかな秋空の下、集まった大勢の観客を前に、総合文化祭実施委員会委員長の佐藤学長が声高らかに開祭宣言し、華々しい幕開けとなりました。

期間中は、学生主体の模擬店でキャンパスは賑わい、学生の日頃の研究成果をもとにした実習や実験を直接体験できる「サイエンスへの招待」をはじめとし、様々な研究発表がありました。さらに大学会館広場ステージでは、「ミスター&ミス弘大コンテスト2014」や「爆笑お笑いライブin HIR ODAI」、「激闘！カラオケ選手権！」などが開催され、会場は大きな拍手と笑いに包まれました。

また、教職員の芸術作品を展示した「職員芸術・造形作品展」や県内各地から計8チームが集合し、華麗な演舞を披露した「よさこい弘大」といったイベントの他に、一般来場者が参加できる「Let's BINGO!」や「大抽選会」など多彩な催しも行われました。

昨年同様、包括協定を締結している弘前市により行われた「地元産農産物等販売」にも多くの来場者が訪れていました。

本学後援会からの助成によるキャンパス内外を彩る幟、提灯も掲げられ、お祭りムードを盛り上げていました。

学生、教職員、地域住民が一体となり本学の更なる飛躍が感じられる3日間となりました。

【全学イベント】

Opening Festival

職員芸術・造形作品展

よさこい弘大

Final Festival

花火

【学術文化祭】

- 人文学部
 - ・特別展「東北の弥生化 ―縄文時代が変わるとき―」
 - ・成田コレクション・アイヌ資料の特別公開
 - ・地域未来創生センター活動成果公開
- 医学研究科
 - ・最新の医学について（社会医学・整形外科学）
- 医学部附属病院
 - ・市民公開講座「肝臓の治療について ―外科医、内科医、放射線科医の立場から」
- 保健学研究科
 - ・市民公開講座「がんの放射線治療」
 - ・人体の構造 ～線描図と写真による解剖記録～
- 農学生命科学部
 - ・公開講座「岩木川の水環境を学ぶ」
- 北日本新エネルギー研究所
 - ・新エネと食料と青森と私

【弘大祭オフィシャルイベント】

熱くなれよ！パフォーマンスショー
二人でなろうよ、グルメ王

Let's BINGO！

激闘！カラオケ選手権

爆笑お笑いライブ in HIRODAI

弘大！秋の部活・サークル対抗戦

弘大band stage ―2014―

ミスター&ミス弘大コンテスト

燃えろ!!○×クイズ!!

大抽選会

スタンプラリー2014

熱々♡ソフトボール大会2014

弘前大学ドッジボール大会2014

M-1グランプリ

着ぐるみとお友達になろう♪

【学部祭】

人文祭

教育祭

医学祭

理工祭

収穫祭



佐藤学長による開祭宣言



中瀬実行委員長による挨拶



各サークル等団体による出店



弘前大学YOSAKOI サークル「焔舞陣」による華麗な演舞



多くの来客でにぎわうキャンパス



オーケストラ喫茶



サイエンスへの招待



激闘!カラオケ選手権



ミスター&ミス弘大コンテスト



Final Festival

■ 諸 会 議

▼役員会

10月6日（月）

審議事項

- 1 弘前大学将来ビジョン（案）について
- 2 国立大学法人弘前大学職員就業規則等の一部改正について
- 3 平成27年度学生募集要項（一般入試）について
- 4 平成27年度競争的資金申請の基本方針について

報告事項

- 1 平成25事業年度 財務諸表の承認について
- 2 国立大学法人の財務等に関する説明会について
- 3 平成26年度国立大学改革基盤強化促進費の採択について
- 4 弘前大学発ベンチャーの認定について
- 5 平成26年度戦略的経費（地域貢献社会連携）の事業計画について
- 6 2014年度弘前大学シニアサマーカレッジについて
- 7 「地域経営が弘前の未来を変える～弘前市経営計画について～」説明会の開催について
- 8 国立大学法人弘前大学の平成25年度に係る業務の実績に関する評価結果（原案）について

10月20日（月）

審議事項

- 1 国立大学法人弘前大学管理運営規則等（COC 関係）の一部改正等について
- 2 弘前大学放射線安全機構規程の一部改正について
- 3 国立大学法人弘前大学契約職員就業規則等の一部改正について
- 4 大学ポートレートについて

報告事項

- 1 学部改組について
- 2 平成26年度内部監査（重点監査項目）の結果について
- 3 青森キャンパスの整備について
- 4 平成26年度寄附金受入状況について
- 5 平成26年度弘前大学競争的資金獲得支援事業の選考結果について
- 6 平成26年度科研費（補助金分・基金分）配分状況等について（一速報）
- 7 企業等からの資金提供状況の公表について
- 8 その他
(1) 被ばく医療総合研究所 RI 設備について

▼教育研究評議会

10月14日（火）

審議事項

- 1 弘前大学将来ビジョン（案）について
- 2 平成27年度学生募集要項（一般入試）について

報告事項

- 1 教員の採用等について
 - 2 教養教育改革について
 - 3 総合文化祭の実施について
 - 4 弘前大学発ベンチャーの認定について
 - 5 平成27年度競争的資金申請の基本方針について
 - 6 2014年度弘前大学シニアサマーカレッジについて
-

-
- 7 委員会等報告
 - (1) 企画委員会 (第3回)
 - (2) 教育推進機構会議
 - (3) 教育委員会
 - (4) 入学試験委員会
 - (5) 研究委員会
 - (6) 21世紀教育センター運営委員会
 - (7) 教員免許状更新講習支援室運営委員会・教員免許状更新講習実施委員会合同会議
 - (8) 第1回弘前大学資料館運営委員会
 - 8 その他

▼教育委員会

10月29日(水)

審議事項

- 1 平成26年度後期「学生による授業評価アンケート」の実施について
- 2 弘前大学学生のための「学内ワークスタディ」(WS)実施細則の改正について
- 3 その他

報告事項

- 1 国立大学法人弘前大学の平成25年度に係る業務の実績に関する評価結果(原案)について
 - 2 弘前大学学生企画コンテスト募集について
 - 3 推薦入試I合格者の入学前交流プログラムについて
 - 4 大学見学について
 - 5 ジェネリックスキル測定(PROGテスト)の実施について
 - 6 平成26年度入学料徴収猶予者(秋季入学)について
 - 7 自転車の盗難防止について
 - 8 平成26年度入学料徴収猶予者(秋季入学)について
 - 9 研究活動の不正行為への対応ガイドラインについて
 - 10 東京事務所の機能強化について
 - 11 地域共同研究センター運営委員会の報告について
 - 12 その他
-

新任役員等紹介

【平成26年10月1日発令】



副理事

ツナガ トオル
曾我 亨

命
人文学部教授

新任部課長等紹介

【平成26年10月1日発令】



総務部総務課長

ホリウチ アキヒコ
堀内 昭彦

前職: 文部科学省初等中等教育局
教育課程課専門官
庶務・助成係長(併任)

新任教授紹介

【平成26年10月1日発令】



理工学研究科

コダマ ヤスマサ
堀玉 安正

昇任
前職: 理工学研究科准教授

人 事 異 動

[採用]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年10月1日		堀内 昭彦	課長(総務・総務)

発令 年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年10月1日		古川 亜湖	一般職員(研推・研高セ) [H28.03.31まで]
平成26年10月1日		浅利 敦子	一般職員(研推・研高セ) [H28.03.31まで]
平成26年10月1日		高山 幸久	一般職員(教育)
平成26年10月1日		笹森 圭子	助教(国際教育セ) [H29.09.30まで]
平成26年10月1日		小笠原 ゆかり	助教(病) [H31.09.30まで]
平成26年10月1日		工藤 倫之	助教(病) [H31.09.30まで]
平成26年10月1日		田中 寿志	助教(病) [H31.09.30まで]
平成26年10月1日		陳 俊輔	助教(病) [H31.09.30まで]
平成26年10月1日		中村 雅将	助教(病) [H31.09.30まで]
平成26年10月1日		船水 文乃	助教(病) [H31.09.30まで]
平成26年10月1日		松田 尚也	助教(病) [H31.09.30まで]
平成26年10月1日		山下 真紀	助教(病) [H31.09.30まで]
平成26年10月1日		五十嵐 剛	助手(医) [H31.03.31まで]
平成26年10月1日		佐藤 天童	助手(医) [H27.03.31まで]
平成26年10月1日		毛内 奈津姫	助手(医) [H27.03.31まで]
平成26年10月1日		岩村 大径	助手(病) [H31.09.30まで]
平成26年10月1日		太田 圭一	助手(病) [H31.09.30まで]
平成26年10月1日		片山 耕輔	助手(病) [H31.09.30まで]
平成26年10月1日		小島 由太	助手(病) [H31.09.30まで]
平成26年10月1日		小林 麻美	助手(病) [H31.09.30まで]
平成26年10月1日		櫻庭 伸悟	助手(病) [H31.09.30まで]
平成26年10月1日		二階 春香	助手(病) [H31.09.30まで]
平成26年10月1日		藤田 尚紀	助手(病) [H31.09.30まで]
平成26年10月1日		淵之上 康平	助手(病) [H31.09.30まで]
平成26年10月1日		三上 穰太郎	助手(病) [H31.09.30まで]
平成26年10月1日		山内 愛紗	助手(病) [H31.09.30まで]
平成26年10月1日		川村 広明	薬剤師(病・薬剤)
平成26年10月1日		中村 碧	診療放射線技師(病・医技)
平成26年10月1日		小山内 崇将	臨床検査技師(病・医技)
平成26年10月1日		小島 啓子	臨床検査技師(病・医技)
平成26年10月1日		田村 唯	理学療法士(病・医技)
平成26年10月1日		大平 朋幸	臨床工学技士(病・医技)
平成26年10月1日		加藤 隆太郎	臨床工学技士(病・医技)

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年10月7日		小田 桐 光 佑	教諭(教育・附小) [H27.03.31まで]
平成26年10月14日		小野 春 美	教諭(教育・附中) [H26.11.23まで]

[任用更新]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年10月1日	講師(医・高度)	三村 純 正	講師(医・高度) [H33.9.30まで]

[昇任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年10月1日	係長(財務・財企)	山形 浩 貴	課長補佐(財務・財企)
平成26年10月1日	准教授(理工)	児玉 安 正	教授(理工)
平成26年10月1日	講師(病)	瓦 林 毅	准教授(医・脳研) [H33.09.30まで]
平成26年10月1日	助教(医・脳研)	右田 啓 介	講師(医・脳研) [H33.09.30まで]
平成26年10月1日	助教(保)	倉内 静 香	講師(保)
平成26年10月1日	助教(病)	當麻 景 章	講師(病) [H27.08.31まで]
平成26年10月1日	助教(病)	北山 眞 任	講師(病) [H33.09.30まで]
平成26年10月1日	助手(病)	奈良岡 征 都	助教(病) [H31.09.30まで]
平成26年10月1日	副看護師長(病・看護)	佐藤 葉 子	看護師長(病・看護)
平成26年10月1日	看護師(病・看護)	花田 千 鶴 子	副看護師長(病・看護)

[配置換]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年10月1日	課長補佐(財務・財企)	後藤 真 吾	課長補佐(学務・教務)
平成26年10月1日	課長補佐(学務・教務)	唐牛 孝 明	専門員(COC)
平成26年10月1日	係長(病・経調)	山田 佳 之	係長(財務・財管)
平成26年10月1日	係長(財務・財管)	奈良 昌 晃	係長(学務・入試)
平成26年10月1日	係長(病・経企)	福士 智 久	係長(医)
平成26年10月1日	係長(病・医事)	成田 智 栄 美	係長(病院・経企)
平成26年10月1日	係長(学務・入試)	葛西 一 宏	係長(病院・経調)
平成26年10月1日	係長(医)	佐藤 良 法	係長(病院・医事)
平成26年10月1日	一般職員(総務・総務)	高木 亜 沙 未	一般職員(学長室)
平成26年10月1日	一般職員(教育)	加藤 愛 美	一般職員(財務・財企)
平成26年10月1日	一般職員(財務・財企)	藤田 康 寛	一般職員(財務・予企室)

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年10月1日	一般職員(財務・予企室)	嶋田 雅史	一般職員(COC)
平成26年10月1日	講師(病)	浅野 研一郎	講師(医) [H33.09.30まで]
平成26年10月1日	助教(保)	堤 伸二	助教(医) [H31.09.30まで]
平成26年10月1日	助教(病)	成田 大一	助教(医) [H31.09.30まで]
平成26年10月1日	助手(医・脳研)	中村 琢洋	助手(病) [H31.09.30まで]
平成26年10月1日	栄養教諭(教育・附小)	西谷 倫子	栄養教諭(教育・特支)
平成26年10月1日	栄養教諭(教育・特支)	菊地 純子	栄養教諭(教育・附小)

[命]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年10月1日	教授(人文)	曾我 亨	副理事 [H28.1.31まで]
平成26年10月1日	課長補佐(財務・財企)	山形 浩貴	男女共同参画推進室員

[免]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年10月1日	課長補佐(学務・教務)	後藤 真吾	男女共同参画推進室員

[休職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年10月1日	一般職員(財務・予企室)	島田 裕介	休職更新 [H26.11.30まで]
平成26年10月3日	看護師(病・看護)	小菅 恵子	休職更新 [H26.12.10まで]
平成26年10月6日	助教(病)	工藤 隆司	休職開始 [H27.9.25まで]
平成26年10月15日	係長(施設・整計)	田村 貴之	休職更新 [H26.10.31まで]
平成26年10月17日	教授(人文)	作道 信介	休職更新 [H27.1.18まで]
平成26年10月23日	看護師(病・看護)	大沢 美紗姫	休職開始 [H26.10.31まで]

[育児休業]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年10月1日	主任(教育)	佐藤 育世	職務復帰
平成26年10月1日	一般職員(財務・予企室)	藤田 康寛	職務復帰
平成26年10月1日	助教(保)	工藤 ひろみ	職務復帰
平成26年10月1日	看護師(病・看護)	對馬 和恵	職務復帰
平成26年10月1日	看護師(病・看護)	金谷 里佳	職務復帰

発令 年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年10月1日	看護師(病・看護)	附田 優美	職務復帰
平成26年10月1日	看護師(病・看護)	小山内 愁子	職務復帰
平成26年10月1日	看護師(病・看護)	松木 結花	職務復帰
平成26年10月1日	看護師(病・看護)	大瀬 洋実	職務復帰
平成26年10月1日	助産師(病・看護)	水木 真知子	職務復帰
平成26年10月1日	助手(医)	村澤 洋美	育児休業開始 [H27.03.31まで]
平成26年10月1日	看護師(病・看護)	澁谷 直子	育児休業開始 [H28.12.31まで]
平成26年10月1日	看護師(病・看護)	廣田 仁美	育児休業延長 [H27.03.31まで]
平成26年10月11日	薬剤師(病・薬剤)	西澤 三保子	育児休業開始 [H26.12.31まで]
平成26年10月15日	看護師(病・看護)	戸田 貴子	育児休業開始 [H27.09.30まで]
平成26年10月16日	看護師(病・看護)	畑山 千絵	育児休業開始 [H28.03.31まで]

[離職]

発令 年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年10月31日	助手(医)	坪井 堅太郎	辞職

■ 主要日誌

- 10月1日 弘前大学及び弘前大学大学院秋季入学式
「HIROSAKIはやぶさカレッジ」入校式
附属図書館リニューアルオープニングセレモニー
- 6日 役員会
- 8日 平成26年度東北地区国立大学法人等会計事務研修（～10日）
- 14日 教育研究評議会
弘前市の経営計画に係る説明会
- 17日 二国間交流事業共同研究セミナー
- 20日 役員会
名誉教授との懇談会
第5回COI特別講演会
- 23日 資料館第6回企画展（～12月19日）
- 24日 第13回弘前大学総合文化祭「テーマ『BEAT』」（～26日）
- 29日 教育委員会

■ 学内規則

(平成26年10月8日一部改正)

○国立大学法人弘前大学職員人事評価実施要項

平成26年10月1日付けでCOC準備事務室が設置されたことに伴い、職員人事評価に係る被評価者、評価者及び調整者について所要の改正を行うため、上記の規程の一部を改正した。

弘前大学学報第127号

弘前大学総務部広報・国際課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172) 36-2111